

取扱説明書

日本消防検定協会 鑑定合格品
住宅用火災警報器
 煙式（光電式・感知性能2種）



『住宅品質確保促進法』対応

まろくん

FSK219-AS

「100V用・移報付」

注意	ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。 また、本文中にてでくる注意事項を注意深く読み、よく理解してご使用ください。
----	---

- この取扱説明書はいつでも使用される所に保管してください。
- この取扱説明書は保証書を兼ねています。
- この商品は定期的な保守点検を必ず行ってください。

NOHMI

保証書

型名	FSK219-AS
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒
	お名前
販売店	住所
	TEL

- この商品は、厳密な品質管理および検査を経てお届けしたものです。
- お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証規定によりお買い上げの販売店がお受けいたします。
- ※ 修理に際しては、お買い上げの販売店に必ずこの保証書を提示の上ご依頼ください。
- ※ この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

NOHMI 能美防災株式会社

本社 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3
 TEL (03)3265-0211 FAX(03)3263-4948

商品の概要

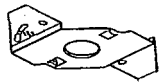
- この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品ですが、消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- この商品は、初期火災の煙をキャッチして警報音で知らせる住宅用火災警報器です。消火装置や火災防止器ではありません。
- お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには必要に応じて、複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。

使用上のご注意

- この警報器は住宅用火災警報器ですので、他の用途には使用しないでください。
- 停電時およびプラグが抜けている場合は警報音は鳴りません。交流電源灯が点灯しているか時々確認してください。
- 室内照明や換気扇などを入・切するスイッチによって電源が断たれるコンセントには、警報器のプラグを差し込まないでください。
- 多量のガスが発生する殺虫剤などを使用する場合は、誤報を防ぐため電源プラグをコンセントから抜いてください。
 なお、殺虫剤などの使用後は、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 殺虫スプレーなどを本体に直接かけないでください。
- この警報器は精密に調整されていますので、本体内部を分解したり改造をしないでください。
- 警報器のすき間に針金などを差し込まないでください。
- 警報器に水などがかからない様にしてください。
 また、雨水のかかる場所、お風呂などのように高湿度環境または水蒸気の発生する場所には取り付けしないでください。
- この警報器は煙をキャッチして警報を発しますが、次のような場合は火災を感知できないことがあります。
 - 爆発的な火災
 - 火の回りが早い火災
 - ガス漏れ、薬品、電気火災
 - 煙の発生しない火災
- この警報器は警報音をその場で発しますので、日頃、人のいない部屋に設置する場合は、警報音が聞こえるかどうか確認してから取り付けてください。
 また、次のような場合は警報音やブザーが聞こえないことがありますので、注意してください。
 - 薬、アルコールなどを飲んでの就寝中
 - テレビやステレオなどの音が大きい場合
 - エアコン、洗濯機、自動車などの騒音が大きい場合
- 毎月1度、点検ボタンを押して「ピー」という警報音が鳴ることを確認してください。旅行などで家を留守にした後も同様に点検ボタンを押して警報音が鳴ることを確認してください。

商品のご確認

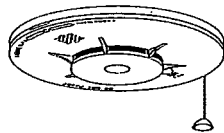
次のものが揃っていることを確認してください。



・取付金具
1個

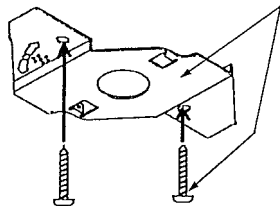


・取付ねじ
2本

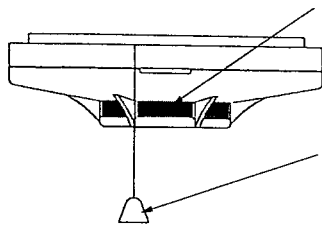


・警報器本体
・取扱説明書 1通

各部の名称とはたらき



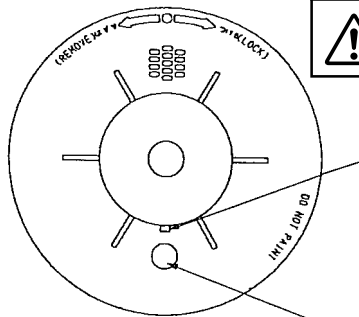
取付金具、取付ねじ
警報器本体を天井または壁に取り付けるために使用します。



煙流入口
ここから煙が入ることにより、警報器が煙を感知します。

警報音停止ひも
鳴動している警報音をとめるときに引きます。

注意
鳴動中に警報音停止ひもを引いた場合は、再度煙が入っても5分間は作動しません。



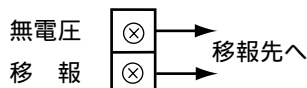
交流電源灯（緑色）
電源が入っている場合、点灯します。

点検ボタン
警報音の作動確認時に押しします。

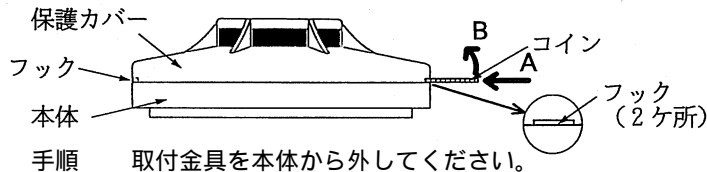
無電圧移報端子（DC24V, 1A）
警備会社などへ移報する場合等に使用します。

配線引込口
電源コード（ケーブル長：約40cm）

【接続図】



保護カバーの外し方



手順 取付金具を本体から外してください。

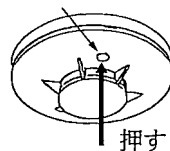
本体を片手に持って、矢印Aのようにコインをフック部に差し込み、矢印Bのようにフック部をコインでこじれば、保護カバーが本体から外れます。他方のフック部も同じ要領で行ってください。

配線後、保護カバーを元通りに閉めてください。

注意
保護カバーを外す際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。

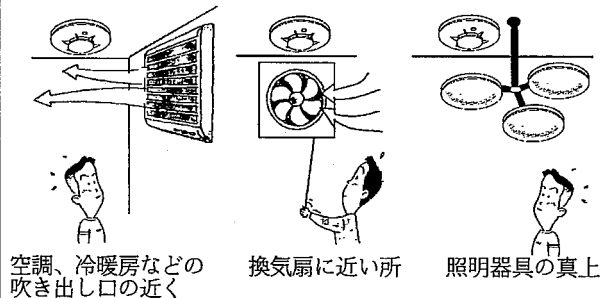
警報器の作動確認

点検ボタン
・電源プラグをコンセントに差し込み、交流電源灯（緑）の点灯確認後、点検ボタンを10秒位押し続けて、警報音が鳴ることを確認してください。手を放せば数秒後に鳴りやみます。なお、鳴動中に警報音停止ひもを引いた場合は、再度煙が入っても5分間は作動しません。

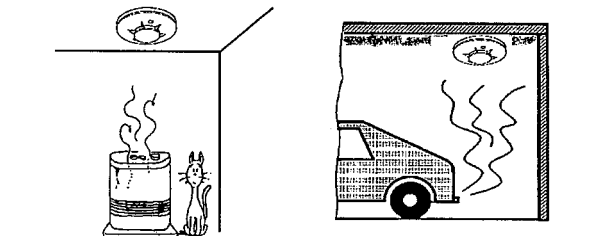


取付場所

次のような場所には取り付けないでください。



（煙を感知しにくくなります。）

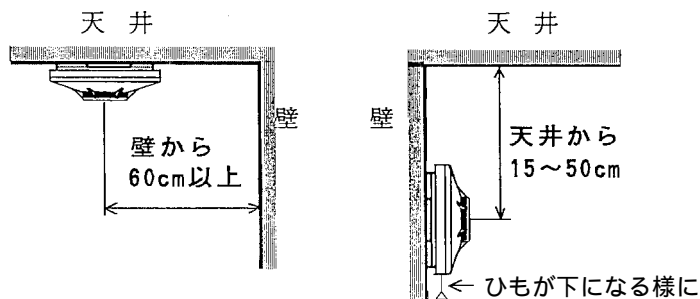


（火災がなくても警報音が鳴るおそれがあります。）

- ・警報器は0 ~ 40 の温度範囲内の場所に取り付けてください。
- ・居室の場合は各部屋の中心になる位置に取り付けると効果的です。
- ・二階がある場合は、二階の階段の降り口の天井面付近に取り付けると効果的です。

取り付け位置は

- ・天井に取り付ける場合は、中央にかつ壁からは60cm以上離してください。(左下図参照)
- ・壁面に取り付ける場合は、警報器の中心が天井面から15~50cmまでの範囲で、警報音停止ひもが下になる方向に取り付けてください。(右下図参照)



警報器の取付方法

次の手順にしたがって警報器を取り付けてください。

注意	警報器の取付けは、安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをするおそれがあります。
	警報器の取付けは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電するおそれがあります。

手順

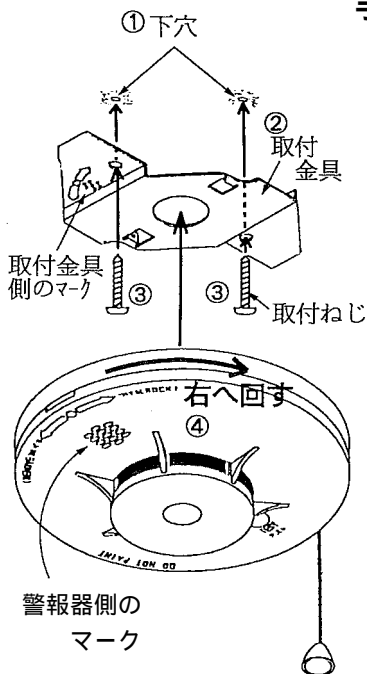
天井面または壁面の梁が通っている場所に、取付ピッチ66.7mmの間隔に印を付け、きりなどで下穴をあけてください。

取付金具を天井面または壁面に当ててください。

取付金具の穴に取付ねじを通し、しっかり締め付けてください。

取付金具側のマークに警報器側のマークの位置を合わせながら警報器の底面部を取付金具に当て、警報器本体を右に回してください。「カチッ」と音がしたら取付完了です。

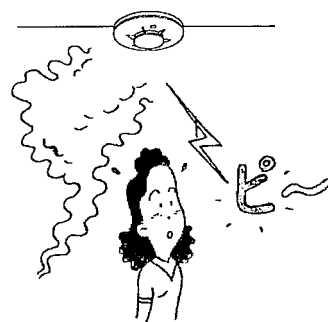
電源プラグをコンセントに差し込んでください。



警報器の作動

1. 煙を感知すると

火災警報器が「ピー」という警報音を発して、火災を知らせます。直ちに現場を確認して、消火などの必要な処置を行ってください。



2. 警報音の止め方

警報音停止ひもを引いてください。警報音が止まります。

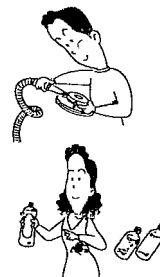
なお、警報音の停止と同時にタイマが作動しますので、再び煙を感知しても5分間は警報音が鳴りませんので、ご注意ください。

お手入れ方法

注意	お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。
	警報器本体を水洗いしないでください。また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。故障の原因になります。

(1) 煙流入口のほこりやくもの巣などを掃除機で吸い取ってください。

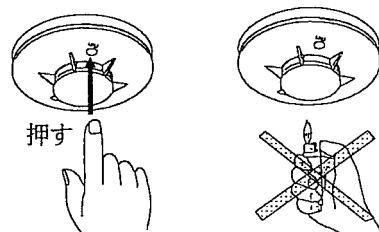
(2) 年に2~3回、化学ぞうきんまたは中性洗剤を浸して十分に絞った布で本体の汚れを拭き取ってください。



定期点検のお願い

注意	・点検時、ライターなどの炎を使わないでください。
	・点検作業時は、安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをするおそれがあります。

取付け後は定期的に(1ヶ月に1度)点検ボタンを押し、作動点検を行い、警報音が正常に鳴ることを確認してください。



警報器の取外し方法

左へ回す



警報器本体を左に回して取外してください。

注意	警報器を取り外す前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。

故障かな？と思ったら

警報器の症状とその原因、対処について下表に示します。下記の対処を行っても直らない場合は、販売店までご連絡ください。

症 状	原 因	対 処
1 点検ボタンを押し続けても警報音が鳴らない。	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない。 ・元電源（ブレーカー等）が入っていない。	・電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ・元電源（ブレーカー等）を確認し、電源を入れてください。 以上の項目を確認しても交流電源灯が点灯しない場合は、販売店までご連絡ください。
	・警報音停止ひもを引いてから5分間経過していない。	・5分後、点検ボタンを押してください。
2 火災でないのに警報音が鳴る。	・火災以外の煙（料理中の煙、ストーブやガスコンロの煙、車の排気ガス、タバコの煙など）を警報器がキャッチした。	・警報器の中の煙がなくなるまでお待ちください。 また、火災以外の煙で警報音が多発する場合は、設置場所を変えてください。

アフタサービスについて

- この商品には保証書が付いています。お買い上げの販売店で所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。万一故障した場合は、内部機構をさわらずにお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。保証規定により修理をいたします。
- アフタサービスについてご不明の場合、その他当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店か能美防災（株）にご連絡ください。

保証規定

- 保証期間内（お買い上げ日から満1年間）に、正常なご使用状態において万一故障した場合には、無料で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも有料になります。
保証書のご提示がない場合
使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷
お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
火災、地震、水害、異常電圧、公害、指定外の電源使用（電圧・周波数）およびその他天災地変等による故障や損傷
保証書の所定事項の未記入や字句が書換えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

郵送についてのお願い

警報器を当社へ郵送される場合は、次のことに注意してください。

- 保証期間中であるときは、本書を商品に同梱してください。
- 商品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋（メールバッグ：文具店などでお求めいただけます）などに入れて、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
- 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

仕様

型 名	FSK219-AS
種 別	住宅用火災警報器
鑑定型式番号	鑑ケ第12～10号
感知方式	煙式（光電式・感知性能2種）
定 格	AC100V、50mA
電 源	AC100V、50/60Hz
消費電流	約40mA（監視時・警報時）
音 量	1mにて70dB以上
外形寸法	122mm x 42mm
質 量	約200g（取付金具を含む）
移報端子	1組・無電圧移報（定格DC24V、1A）
使用温度範囲	0 ~ 40
復 旧	自己復旧方式
付 属 品	取付金具1個、取付ねじ2本

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。